

森の川自然散歩

2018年12月号

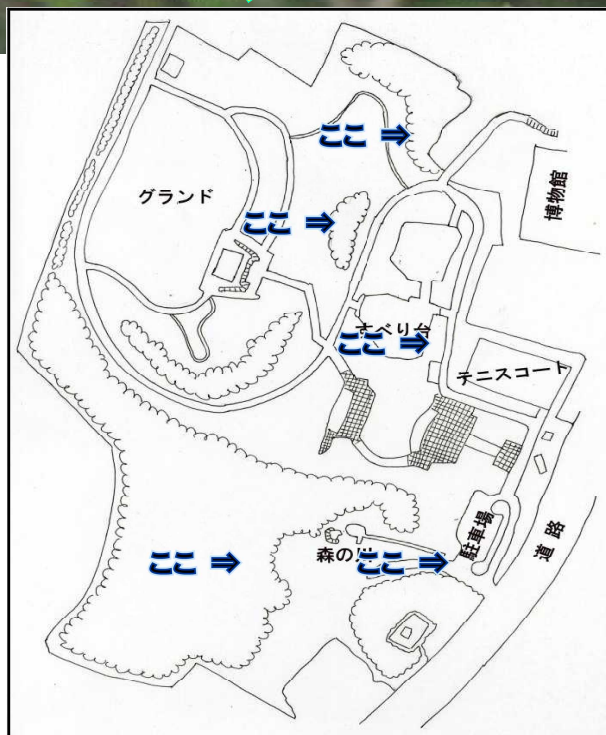


鳴き声は「シャッキン、カエシチクリ」

上：公園の木にとまるシロガシラ。
鳴き声が独特で、「借金、返しちくり」とも聞こえる。

シロガシラ（メモ）▶▶▶

- 全長は約19～20cmで、ヒヨドリより少し小さめの大きさです。頭の白い毛が目立つので、他の鳥とはすぐ区別できます。
- 森川公園では、下の駐車場の周辺や上の広場の展望台やトイレの周辺でよく見ます。
- 背中が緑褐色で、胸から腹は白色または灰白色をしています。額や眼の周り、後頭部にかけては黒い色しているため、一見するとマスクをかけているように見えます。
- 沖縄諸島にいるものは、台湾や八重山諸島からの外来種であるタイワンシロガシラといわれています。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。



(22) 岩壁をはう葉っぱの謎 ～ オオイタビ ～

公園内を散歩していると、遊歩道沿いの石垣にはい上がる小さな葉の群れを見かけることはありませんか。この植物はオオイタビとって、方言ではアンマーチーチなどといいます。小さな葉は幼形葉といい、石垣だろうが木の幹だろうが、お家のコンクリート壁だろうが、お構いなしにはい上がっていく特殊技能をもっています。

そのはい上がる秘密は、小さな葉をめくりあげると分かります。葉の下にある茎から、細い気根が出ています。これを壁面にひっかけて、壁をはい上がっていくのです。これで?と思った方は、茎そのものを引っ張ってみてください。

左:石垣にはい上がるオオイタビ。(囲み)葉の下の茎から出る気根と吸盤。

森川公園11月の花ごよみ

～ ヤマグワ(シマグワ) ～

- 森川公園の上の広場下の遊歩道沿いに大きな木が2本あります。小さな木は、遊歩道沿いの石垣や、路傍に多く生えています。
- 北海道から先島諸島の島々に普通に生えています。半落葉性の常緑低木で、高さは2～12mになります。葉は長さが6～15cmで、形がいろいろに変わります。
- 春から初夏に、長さ2～3cmの黄緑色の花を咲かせ、夏から秋に黒紫色に実が熟します。実は甘く美味しいので、以前は、こども達のおやつとしても重宝しました。また家庭でジャムなどに加工されることもあります。

右:上の広場の岩場下で実をつけたナガミボチョウジ。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

